



来週の投資戦略 (9/27-10/1)

水曜日午後、新総裁誕生で

2021年9月26日

小松 徹

注目事項 — 見所

- 9月29日、自由民主党総裁選投票開票 — 午後に新総裁誕生
- 10月1日、8月の失業率 — 2.9%に悪化?
- 10月1日、9月の日銀短観 — 大企業製造業業況判断指数は変わらず?

株式市場見通し

先週は3営業日しかなかったが、株式市場はドタバタ劇で終わった。中国恒大集団が23日の米ドル建て利払いの支払いが出来ないのでデフォルトに陥る、そうなると中国発の金融不安が到来する可能性も、との見方で一部投資家がリスク回避の動きに出た。しかしながら、米連邦公開市場委員会 (FOMC) の結果とその後のパウエル連邦準備理事会 (FRB) 議長の説明で、市場には安心感が出て、投資家は買い戻した。「恒大問題は非常に中国特有のもの」との発言が投資家を勇気づけた。

来週の注目は水曜日午後開催の自由民主党総裁選投票開票である。自由民主党の総裁候補が連日ネットで公開討論している。選挙は全国自民党員票が先に集計され、水曜日に正式発表されることになっているが、関係者によると各都道府県の集計値はそれ以前に分かるらしい。したがって、水曜日の国会議員投票前にどの程度河野候補が勝っているか注目される。6割を超えると国会議員票も流れる可能性があるが、5割以下だと国会議員の決選投票が必要になる。この場合には初回集計値で1位になった候補が必ずしも勝てるか分からない。株式市場は河野候補が勝つかどうかで動くだろう。市場引けギリギリの時間帯に当たり、その後の時間外取引市場でも動くだろう。

さて、通常ならば、金曜日発表の9月の日銀短観が最も注目されるが、今回はそれほどでもなさそう。ひとつには自民党総裁選結果に注目が集まること、もうひとつは緊急事態宣言下で大きな変化がなさそうだからだ。大企業製造業の業況判断指数 (DI) は現状も先行きも13あるいは14と予想されており、3か月前とほとんど変わらない。むしろ、大企業非製造業先行きDIが5あるいはそれ以上に改善するならば、そちらの方に意外感があるかもしれない。しかも政府が緊急事態宣言を解除するだろう直後だから、期待感も高まる。こうしたことを先取りして先週関連銘柄群が動いた。

最後に、来週注意しておきたいことを挙げておこう。米国の長期金利が先週末1.45%に上昇した。1.4%台は2カ月ぶりである。この程度で落ち着くかどうか、推移を見たい。一方、中国恒大集団の米ドル債の利払いはまだ実施されていない。今後破産法に基づいてどのような処理が行われるか。政府がどのように関与するか、今後も注目されよう。

KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期大幅増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。

©2000–2021 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.